

「情報公開文書」

受付番号：受付-41595

課題名：人工知能（AI）による歯科・顎矯正手術後の下歯槽神経麻痺の発生予測に関する研究

1. 研究の対象

2015 年 4 月から 2023 年 3 月までに東北大学病院顎顔面・口腔外科において顎矯正手術を受けた方

2. 研究期間

2025年7月（研究実施許可日）～2028年12月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日：2025 年 7 月 1 日

提供開始予定日：該当なし

4. 研究目的

歯科・顎矯正手術等を行う患者に対して、術前のCT画像（硬組織）データからAIを用いた術後の下歯槽神経麻痺の発生予測画像の形成ソフトのプログラミングを行います。

5. 研究方法

東北大学病院歯科顎口腔外科において顎矯正手術を施行された既存の症例のカルテ情報（カルテ番号、性別、年齢、病歴、術後の麻痺の有無などの臨床所見）、CT画像所見などを後方視的に収集し調査します。調査項目はパノラマX線写真とCT画像所見による視覚的評価（下顎管から下顎下縁の距離、下顎管から下顎枝外側皮質骨までの距離、下顎枝前縁部から下顎小舌までの距離など）を定量値とします。また下歯槽神経麻痺の発生とこれら解剖学的な距離の相関を明らかにして、麻痺の発生予測に有用な手法であるAIを用いた検討を行います。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

患者識別番号、性別、年齢、身長、体重、CT、パノラマ X 線写真、側方頭部 X 線規格写真、術式、移動量等

7. 外部への試料・情報の提供

本研究では該当しません。

8. 研究組織

東北大学大学院歯学研究科 野上晋之介

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

本学では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

本研究は運営費交付金を使用する。研究者等の本研究に係る利益相反はない。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：研究責任者

担当者の所属・氏名：東北大学大学院歯学研究科顎顔面口腔再建外科学分野 野上晋之介

住所：宮城県仙台市青葉区星陵町 4-1

連絡先：022-717-8350

Shinnosuke.nogami.c4@tohoku.ac.jp

当院の研究責任者：東北大学大学院歯学研究科顎顔面口腔再建外科学分野 野上晋之介

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合